

わたしの 妊娠報告書

記載日 R5 年 11 月 13 日

おめでた宣言日	2023 年 11 月
年齢 (34) 歳	(平成) 令和 (30) 年 (12) 月 結婚
私は (顕微授精)	で妊娠しました。

不妊治療歴	(2) 年 (4) ヶ月
他院での治療歴	なし (あり) → 内容 (タイミング、卵管形成手術)
ASKAでの治療歴	
一般不妊治療	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法	() 回
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法	(3) 回
<input type="checkbox"/> 自然排卵 +人工授精	() 回
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 +人工授精	(3) 回
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法	() 回
<input type="checkbox"/> 体外受精	() 回
<input type="checkbox"/> 顕微授精	(3) 回

妊娠の秘訣・心がけていた事

毎日を楽しく過ごすこと。とりあえず考える時間を作らないように、予定を出来る限り入れていました。「だめだったときにやりたいこと」「だめだったときのお疲れ様のご褒美」などリストアップしておき、うまくいかなかったときもポジティブでいられるようにしました。SNSも友人の子供の投稿を見るのが辛かったので、目に入らないよう非表示にしたりしていました。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

治療に関しては大きな苦労はありませんでした。治療費は保険適応に変わったのが大変助かりました。それよりも時間や年齢の焦り、治療回数を重ねるごとに増すフレッシュ、出口の見えない状態が続くことが不安でした。心が荒んでしまい、周りの出産報告も喜べない状態が何年も続きました。

その他（通院・治療費・家族など）

職場の理解が得られず、強く当たられる時期が一番辛かったです。そのため焦るなかでも治療を一旦ストップし、転職しました。現職は以前より忙しくて帰りが遅くなってしまったけど、治療のために融通をきかせてくれたりと、ストレスは激減しました。治療年数が長くなるにつれ夫も理解してくれるようになり、夫のサポートにも大変心を救われました。

治療中の方へのアドバイス

「なぜ私達夫婦だけ...」と思いがちですが、もし結婚後すぐに子供が授かっていたら、子供に対する気持ちや夫との関係もすごく浅いまま子育てが始まっていたと思います。この治療期間があったからこそ、夫婦の絆が深まり、二人共が心から子供をほしいと思える状態を授かることができました。長かったですが決して無駄な時間ではなかったと思います。ぜひ先生方を信じて、前だけを見て進んでほしいです。

スタッフへのご意見など

スタッフ一人ひとりが親切的な方ばかりで、診察も嫌な気持ちには一度もありませんでした。先生方はいつ休んでおられるのか心配になるくらい、朝から夜遅くまで働いておられ、仕事帰りの遅い時間も対応して頂き大変有り難かったです。ASKAの皆さんのおかげで授かることができ、感謝でいっぱいです。ぜひ第二子もこちらで授かりたいです。